

# SciREXオープンフォーラム2022

持続可能な社会システム実現のために、  
科学技術イノベーション政策を  
どのように設計していくべきか  
～アフターコロナ時代に向けて～

2022年3月7日（月）

18：30～20:00

オンライン

# セッションの概要

- 背景：

- コロナ禍や脱炭素といった社会課題の登場は、20世紀までの成長志向の社会からレジリエントで持続可能な社会へと向かう歴史的潮流の変化を示している。現代の複雑化した社会課題を解決するためには、第6期科学技術・イノベーション基本計画で記載されている総合知が必要とされ、自然科学と人文社会科学の知識融合を促すように政策の方向性も変化してきた。
- このような歴史的潮流の中で、持続可能な社会システムを実現するために必要な科学技術・イノベーション政策とは何か？どのように政策をデザインしていくべきか？科学技術に関する歴史認識に基づき、将来の発展を見据えた科学技術・イノベーション政策を明らかにする必要がある。

- 目的：

- そこで本セッションでは「科学技術・イノベーション政策の役割とは何か？」の根本的な問いに立ち返った上で、行政・学術研究・産業界それぞれの観点から、歴史的潮流の中での科学技術をどのように認識するか、科学技術・イノベーション政策をどのように設計すべきかについて話題提供を行い、その後パネルディスカッションを通じてあるべき政策デザインを明らかにする。

- 想定する参加者：

- 行政官、研究者（経済学・経営学・行政学等）及び実務家（研究開発・設備投資担当等）

# 登壇者・セッションの流れ

- 18:30-18:45 趣旨説明とパネリストのご紹介
  - 政策研究大学院大学特任フェロー 池内健太氏
- 18:45-19:25 パネリストからの話題提供（各10分）
  - 慶應義塾大学名誉教授 黒田 昌裕氏（科学技術と経済の歴史的観点から）
  - 株式会社経営共創基盤 IGPIグループ会長 富山 和彦氏（産業界の観点から）
  - 文部科学省大臣官房審議官（研究振興局担当） 坂本 修一氏（行政の観点から）
  - 東京工業大学戦略的経営オフィス教授 江端 新吾氏（大学での研究マネジメントの観点から）
- 19:25-19:55 パネルディスカッション・質疑応答
  - モデレータ：池内
- 19:55-20:00 セッションのまとめ
  - 内閣府科学技術・イノベーション推進事務局参事官（統合戦略担当） 赤池 伸一氏

# モデレータの問題意識

- ① 科学技術・イノベーションを取り巻く重要な環境変化
  - ・ 世界的な潮流と日本に特有の課題
    - ・ グローバル化、デジタル革命、気候変動問題、格差拡大（富の集中）、多様性と「総合知」
  - ・ コロナショックの影響
- ② 日本の科学技術力やイノベーション創出力の現状認識
  - ・ 歴史的変遷・時代を通じた変化、国際競争力の視点
  - ・ 「失われた30年」における企業と大学の国際競争力の変化
  - ・ 課題・ボトルネックは何か？大学の研究力？企業の吸収能力？起業家精神？
- ③ 近年の科学技術・イノベーションにおける「政府」と「政策」の役割
  - ・ 科学技術の振興・イノベーション創出の促進を狙った様々な政策と制度改革の評価
    - ・ 科学技術基本法制定、総合科学技術・イノベーション会議の設置、国立大学や国立試験研究機関の法人化、大学発ベンチャー1000社構想、産業クラスター・知的クラスター、競争的研究資金の拡充、SIPやムーンショットなどのミッション指向型研究推進事業…
  - ・ イノベーションプロセスにおけるアカデミア（大学）の役割と政府の関与の在り方
  - ・ 公的研究資金の配分のあり方、理想とすべき資金循環の形
  - ・ 大学や公的研究機関など研究組織のシステム改革の必要性とその方向性

# パネリストからの話題提供

- ① 近年の環境変化が科学技術・イノベーションにどのような影響を与えたか？
  - ・ コロナ禍、グローバル化、デジタル革命、気候変動問題、格差拡大（富の集中）等
- ② 日本の科学技術力・イノベーション創出力の現状をどのように認識しているか？
  - ・ 歴史的変遷・時代を通じた変化
  - ・ 「失われた30年」における企業と大学の国際競争力の変化
- ③ 政策は科学技術・イノベーションにどのように貢献したか？課題は何か？
  - ・ 科学技術イノベーション政策と制度改革
  - ・ イノベーションプロセスにおけるアカデミア（大学）の役割と政府の関与
  - ・ 公的研究資金の配分
  - ・ 総合知の促進・活用

# パネルディスカッション

- 近年の環境変化・日本の置かれた現状・政策の役割に対する問題を踏まえ、「持続可能な社会システム実現のために、科学技術イノベーション政策をどのように設計していくべきか？」について議論を行う。
  - 科学投資から生まれた技術を民間に移転することでイノベーションを創出する、従来のリニアモデル的な発想の政策からどう転換すべきか？
  - 経済成長だけでなく持続可能性の観点を考慮すると政策に何が必要か？
  - 新しい科学技術イノベーション政策の萌芽は現れているか？